

# 資 料

平成18年6月30日(金) 13時から  
在日米軍再編に係る対策特別委員会資料

- 1 米軍機による千歳基地への訓練移転について(札幌防衛施設局長発信文書)・・・資料1
- 2 国との協議によって確認されている事項について・・・資料2
- 3 対策特別委員会での確認事項に対する回答について
  - (1) 平成18年6月20日に出された確認事項に係る国からの聞き取り回答について・・・資料3
  - (2) 平成18年6月26日に出された確認事項に係る国からの聞き取り回答について・・・資料4
  - (3) 平成18年6月26日に出された確認事項に係る市に関する項目の回答について・・・資料5



施札第1740号 (HFP)  
平成18年6月28日

千歳市長  
山口 幸太郎 殿

札幌防衛施設局長  
土屋 龍



### 米軍機による千歳基地への訓練移転について

貴職におかれては、日頃より、防衛施設行政に対しご理解、ご協力を頂き深く感謝申し上げます。

さて、5月1日の日米安全保障協議委員会において、「再編実施のためのロードマップ」が合意され、同月30日、「在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組について」が閣議決定されました。

つきましては、嘉手納飛行場等の米軍機の千歳基地への訓練移転に関する当職の考え方は、下記のとおりですので、事情ご賢察の上、ご理解、ご協力方お願い申し上げます。

#### 記

- 1 千歳基地への訓練移転に関する貴職と当職との間の文書の締結については、貴職のご要望を承りつつ、移転訓練実施前までに締結できるよう、前向きに努力いたします。
- 2 貴職が懸念されている深夜、早朝、土・日曜日及び祝祭日等の米軍の訓練については、日米間の合意により、航空自衛隊と同様の態様で実施されるものと承知していますが、訓練実施に際しては、当局から米側へ申し入れたいと考えております。
- 3 移転訓練に際して、当局としては、貴市を始めとする関係機関等と連絡協議会を設置いたしたく、同協議会へのご参加方お願い申し上げます。
- 4 「在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組について」（閣議決定）において、再編関連措置を実施する際に、地元地方公共団体において新たな負担を伴うものについては、かかる負担を担う地元地方公共団体の要望に配慮し、我が国の平和と安全への大きな貢献にこたえるよう、地域振興策等の措置を実施するものとされております。当局としては、この閣議決定に従い、貴市から周辺対策等のご要望があれば、その実現に向けて最大限努力してまいります。

以上

## 国との協議において確認されている事項

## 1 協定の締結

- (1) 協定締結時期 移転訓練実施までに締結する。
- (2) 締結者 札幌防衛施設局長及び千歳市長
- (3) 協定内容

## ①千歳基地の位置づけ

- ・ 地位協定第2条4項bに基づく施設とする。

## ②市民の安全・安心対策

- ・ 国は、共同訓練期間中における事故・事件に適切に対処するため、関係機関との間で連絡体制を整備する。
- ・ 万が一、事故・事件が発生した時は、速やかに関係機関に対し事実を詳細に報告するとともに、国が責任をもって対応する。
- ・ 札幌防衛施設局職員を千歳市に派遣し、共同訓練期間中における行政機関への連絡や周辺住民への対応などにあたる。

## ③生活環境の整備

- ・ 国は、千歳飛行場周辺における騒音対策及び地域振興策等について、千歳市の要望を踏まえ、所要の措置を積極的に講ずる。

## ④訓練の概要

- ・ 訓練の形式は、航空自衛隊との共同訓練とする。
- ・ 基地使用の態様については、日米合同委員会合意による現在の使用条件のうち、年約4回の訓練回数の制限は撤廃するが、訓練1回あたりの日数約3日から20日まで、年間60日以内については維持する。
- ・ その他の態様については、共同訓練に参加する航空自衛隊と同様の態様とする。

## ⑤地元への情報提供

- ・ 国は、共同訓練の計画について千歳市に対して事前に通知する。

## 別途文書確認事項 航空自衛隊と同様の態様の内容

- ① 現在、航空自衛隊は、千歳基地周辺市街地に対する航空機騒音の影響を局限するような運用を実施している。その内容は以下のとおりである。

- ・特に静穏を要する全市的な行事については、任務に支障のない範囲において飛行訓練を中止する。
- ・ジェット機の西側旋回については、管制機関と協議し安全上やむを得ない場合を除き行わないことを原則とする。
- ・従来から実施している自主規制については今後も継続的に実施する。

② 土・日曜日、祝祭日について、航空自衛隊は、基本的には訓練は実施していないが、任務遂行等必要な場合は飛行訓練を行うことがある。今般の移転訓練については、今後、日米間で具体的な訓練計画を策定するが、訓練の自粛を求めている千歳市の要望を念頭において、具体的な訓練計画の策定に際して調整していく。

## 2 騒音対策の実施

### (1) 住宅防音工事の推進

- ① 防音建具機能復旧工事等については、予算枠を増額確保し、待機者の早期解消を図る。
- ② 告示後住宅については、今後、騒音度調査を実施し、この結果に基づいて騒音区域の見直しを行ったうえで、対象となる住宅について防音工事を実施する。
- ③ 市民に対する情報提供の一貫として、飛行訓練に伴う騒音発生状況を閲覧できる騒音情報公開システムの設置に向けて検討する。

## 3 事故・事件の対応

- ① 協定内容に記載のとおり、市民の安全・安心対策を確実に実施する。

## 4 関係機関による連絡協議会の設置

- ① 札幌防衛施設局、北海道、北海道警察本部、千歳市など地元関係自治体を構成メンバーとして連絡協議会を設置する。
- ② 連絡協議会において、事故・事件に関する対応体制の整備及び訓練計画に関する情報提供、訓練結果の評価等について協議する。

## 5 地域振興策の実施

- ① 閣議決定において、再編関連措置を実施する際に、新たな負担を担う地元自治体の要望に配慮し、地域振興策等の措置を実施するものとしている。国としては、新たな法制度を整備したうえで、交付金の創設などを検討している。
- ② 千歳市の周辺対策等の要望を踏まえ、その実現に向けて最大限努力する。

平成18年6月20日在日米軍再編に係る対策特別委員会での確認事項について、国からの聞き取り回答を報告します。

確認事項 [エアブレーキの使用について]

- ① 千歳基地の場合には F-15 の着陸時にはエアブレーキを使用していますが、嘉手納基地の F-15、三沢基地の F-16、岩国基地の F/A-18 はどれだけエアブレーキを使用しているのか。
- ② エアブレーキを「使用したとき」と「使用しないとき」では、安全性と騒音にどのような違いがでるのか。

回 答

- 1 嘉手納飛行場の F-15 戦闘機、三沢飛行場の F-16 戦闘機及び岩国飛行場の F/A-18 戦闘機のエアブレーキの使用頻度については、米軍の運用に関することであり、承知していない。
- 2 エアブレーキの使用の有無については、安全性にも留意し、必要に応じて使用しているものと承知しており、騒音の違いについては、エアブレーキと騒音との因果関係について調査した実績が無いことから確たることは申し上げられない。

確認事項 [矢臼別での米軍の訓練について]

- ① これまで米軍が関係した事故・事件の発生件数と、その状況を示してほしい。
- ② 現地で防衛施設局が行っている事故・事件対策の体制を示してほしい。

回 答

- 1 矢臼別演習場における沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施に際して、事件・事故が発生した実績はありません。
- 2 当該訓練の円滑な実施の支援のため「札幌防衛施設局米海兵隊実弾射撃訓練現地対策本部」を設置し、期間としては本部の準備・撤収を含め約1ヶ月、職員等45名前後の体制で事件・事故の対応も含め、最大限の対応をしてきているところです。

確認事項 [劣化ウラン弾について]

- ① 劣化ウラン弾とはどういう性能なのか。
- ② 千歳基地で行われる訓練移転の日米共同訓練において、米軍機に「劣化ウラン弾」が装備されているのか。

回 答

- 1 政府は、第156回国会の衆議院外務委員会において、劣化ウラン弾は、弾心に重金属として劣化ウランを用いて、戦車等の装甲を打ち抜き内部を燃焼する弾である旨、回答しております。
- 2 劣化ウラン弾の使用については、第156回国会の参議院外交防衛委員会において、米軍内規により、わが国の訓練場では禁止していると承知している旨、回答しております。

平成18年6月26日在日米軍再編に係る対策特別委員会での確認事項について  
国からの聞き取り回答を報告します。

確認事項

在日米軍再編に係る訓練移転の共同訓練において、外来機の飛来があるのか。

回答

5月22日の議員協議会の折に、「移転訓練の対象となる航空機は、日本に配備されているものを念頭においています。」のと回答をしております。



平成18年6月26日在日米軍再編に係る対策特別委員会での確認事項について、市に係る項目について報告します。

**確認事項**

千歳市及び北海道が設置している騒音測定局の設置場所はどのように決定しているのか。

**回 答**

騒音測定局の設置場所につきましては、環境省が作成しました「航空機騒音監視測定マニュアル」に基づいて、航空機の飛行コースや騒音影響範囲並びに町内会や市議会からの要望などを勘案し、北海道とも協議して、飛行回数や飛行形態の変化に対応し、年間を通して測定に適した場所を選定し、千歳市8局、北海道9局、国3局の20局で測定しております。

**質問事項**

過去の航空自衛隊千歳基地を使用しての日米共同訓練時の苦情の状況はどうなっているのか。

**回 答**

航空自衛隊千歳基地を使用しての日米共同訓練は、過去10年で3回実施されており、市に寄せられた件数は以下のとおりとなっております。

年 度	苦情回数
平成 9年度	1
平成10年度	3
平成11年度	2